

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年8月3日

【四半期会計期間】 第19期第1四半期(自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)

【会社名】 株式会社エスティック

【英訳名】 E S T I C C O R P O R A T I O N

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鈴木 弘

【本店の所在の場所】 大阪府守口市橋波東之町二丁目5番9号

【電話番号】 06-6993-8855

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 伊勢嶋 勇

【最寄りの連絡場所】 大阪府守口市橋波東之町二丁目5番9号

【電話番号】 06-6993-8855

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 伊勢嶋 勇

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等

回次	第18期 第1四半期 累計(会計)期間	第19期 第1四半期 累計(会計)期間	第18期
会計期間	自 平成22年 3月21日 至 平成22年 6月20日	自 平成23年 3月21日 至 平成23年 6月20日	自 平成22年 3月21日 至 平成23年 3月20日
売上高 (千円)	412,626	611,587	1,760,895
経常利益 (千円)	54,496	98,125	223,473
四半期(当期)純利益 (千円)	31,924	58,541	131,869
持分法を適用した 場合の投資損益 (千円)	4,560	5,371	10,580
資本金 (千円)	557,000	557,000	557,000
発行済株式総数 (株)	14,710	14,710	14,710
純資産額 (千円)	2,458,454	2,560,588	2,555,240
総資産額 (千円)	2,715,531	2,937,967	2,890,861
1株当たり純資産額 (円)	180,808.63	188,320.13	187,926.82
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	2,347.92	4,305.48	9,698.40
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)			
1株当たり配当額 (円)			4,000
自己資本比率 (%)	90.5	87.2	88.4
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	6,919	118,312	307,461
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,688	9,574	8,520
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	59,667	47,390	67,864
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	582,097	659,775	841,394
従業員数 (名)	61	61	58

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第1四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

提出会社の状況

平成23年6月20日現在

従業員数(名)	61(8)
---------	-------

(注) 1 従業員数は、就業人員数であります。

2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第1四半期会計期間の平均雇用人数であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間における生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ナットランナ	264,097	+115.8
ハンドナットランナ	252,884	+58.8
サーボプレス	14,115	+41.2
ネジ締付装置	129,278	+8.5
修理・点検・その他	18,428	+23.4
合計	678,802	+59.4

- (注) 1 当社は、単一セグメントであるため製品別で記載しております。
2 金額は、販売価格によっております。
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期会計期間における受注実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ネジ締付装置	113,398	10.7	158,038	+42.8
合計	113,398	10.7	158,038	+42.8

- (注) 1 当社は、単一セグメントであるため製品別で記載しております。
2 金額は、販売価格によっております。
3 見込生産品については、表示しておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ナットランナ	214,108	+98.7
ハンドナットランナ	231,956	+48.6
サーボプレス	17,815	+21.9
ネジ締付装置	129,278	+8.5
修理・点検・その他	18,428	+23.4
合計	611,587	+48.2

(注) 1 当社は、単一セグメントであるため製品別で記載しております。

2 輸出高の総額及び総販売実績に対する輸出高の割合は、次のとおりであります。

製品別	前第1四半期会計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)		当第1四半期会計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	
	輸出金額(千円)	割合(%)	輸出金額(千円)	割合(%)
ナットランナ	68,859	16.7	158,157	25.9
ハンドナットランナ	37,820	9.2	112,010	18.3
サーボプレス	10,487	2.5	16,937	2.8
ネジ締付装置	29,637	7.2	46,948	7.7
修理・点検・その他	3,713	0.9	5,890	1.0
合計	150,518	36.5	339,943	55.6

3 主な輸出先の販売高及び輸出版売高に対する割合は、次のとおりであります。

輸出先	前第1四半期会計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)		当第1四半期会計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
アジア	121,080	80.4	184,476	54.3
北米	20,152	13.4	39,963	11.8
中南米	3,339	2.2	81,408	23.9
その他の地域	5,946	4.0	34,095	10.0
合計	150,518	100.0	339,943	100.0

4 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。
なお、当該割合が100分の10未満の相手先については記載を省略しております。

相手先	前第1四半期会計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)		当第1四半期会計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
株式会社日伝			113,963	18.6
株式会社安永	55,053	13.3		
株式会社テクサス	50,025	12.1		
アルファテック株式会社			81,097	13.3

5 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災による被害や原発事故に起因する電力問題等、企業経営にとってはその影響が測り得ない状況の下、今後の国内経済動向の見通しが大変困難な状態が継続しております。

このような状況のなか、当社においても震災の影響により一部の資材の調達が困難となる状況になりましたが、生産に支障をきたさないようその確保に注力してまいりました。その結果、現在まで生産に支障をきたすような状況に至ることなく、安定的な生産態勢を維持することができております。

なお、これらの状況は震災被害にあわれた関連各社の復興状況に比例して改善しつつあります。

受注状況につきましては、当社主力販売先であります自動車産業界の状況は、国内市場におきましては、今までのところ震災影響による受注活動への悪影響も少なく、昨年から引き続き緩やかな景気回復のなか堅実な受注状況で推移してまいりました。

他方、海外市場におきましては昨年度より引き続き中国及び韓国市場を中心にアジア地域における設備投資が活発で、依然として力強い景気状況を示しております。

このような市場環境のなか、当社といたしましては、国内市場では昨年度より引き続き自動車産業以外の業界への市場開拓や、一部で競合する空気圧機器と比較した当社製品の省エネ効果を前面におしだしたPR活動の強化等に取り組むとともに、海外市場の販売強化のための海外部門の増員、海外代理店の新規開拓、メンテナンス教育に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期会計期間は、売上高611百万円（前年同四半期比48.2%増）、営業利益102百万円（前年同四半期比89.0%増）、経常利益98百万円（前年同四半期比80.1%増）、四半期純利益58百万円（前年同四半期比83.4%増）となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、2,937百万円と前事業年度末比47百万円の増加となりました。

これは流動資産については、製品の増加などの影響により2,147百万円と前事業年度末比35百万円の増加となり、固定資産については、790百万円と前事業年度末比11百万円の増加となったことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、377百万円と前事業年度末比41百万円の増加となりました。

これは主に未払法人税等が44百万円減少した一方、買掛金が64百万円、その他が27百万円増加したことなどによるものです。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、2,560百万円と前事業年度末比5百万円の増加となりました。

これは主に利益剰余金が4百万円増加したことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの分析

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は659百万円となり、前事業年度末に比べて181百万円の減少となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは118百万円の支出(前年同四半期は6百万円の収入)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益99百万円、仕入債務の増加額64百万円などの増加要因があったものの、売上債権の増加額108百万円、たな卸資産の増加額91百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは9百万円の支出(前年同四半期は1百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入20百万円の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出20百万円、有形固定資産の取得による支出4百万円、無形固定資産の取得による支出4百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは47百万円の支出(前年同四半期は59百万円の支出)となりました。

これは、配当金の支払額47百万円の減少要因があったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期会計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期会計期間の研究開発費の総額は、23百万円であります。

なお、当第1四半期会計期間において、当社の研究開発活動に重要な変更はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000
計	50,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月3日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,710	14,710	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株制度を採用しており ません。
計	14,710	14,710		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年3月21日～ 平成23年6月20日		14,710		557,000		639,750

(6) 【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しており
ません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年3月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年3月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,113		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,597	13,597	
単元未満株式			
発行済株式総数	14,710		
総株主の議決権		13,597	

【自己株式等】

平成23年3月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社エスティック	大阪府守口市橋波東之町 2丁目5-9	1,113		1,113	7.56
計		1,113		1,113	7.56

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年 4月	5月	6月
最高(円)	113,000	119,800	106,000
最低(円)	101,500	102,400	98,000

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所マザーズ市場における株価を記載しております。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期会計期間(平成22年3月21日から平成22年6月20日まで)及び前第1四半期累計期間(平成22年3月21日から平成22年6月20日まで)は、改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第1四半期会計期間(平成23年3月21日から平成23年6月20日まで)及び当第1四半期累計期間(平成23年3月21日から平成23年6月20日まで)は、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期会計期間(平成22年3月21日から平成22年6月20日まで)及び前第1四半期累計期間(平成22年3月21日から平成22年6月20日まで)に係る四半期財務諸表並びに当第1四半期会計期間(平成23年3月21日から平成23年6月20日まで)及び当第1四半期累計期間(平成23年3月21日から平成23年6月20日まで)に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成していません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年6月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,775	892,394
受取手形及び売掛金	857,156	2 748,864
製品	91,740	57,377
原材料	358,826	332,420
仕掛品	82,371	51,808
その他	63,736	47,739
貸倒引当金	17,195	18,538
流動資産合計	2,147,412	2,112,065
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	1 112,344	1 111,351
有形固定資産合計	525,584	524,592
無形固定資産	12,184	9,172
投資その他の資産		
その他	253,285	245,531
貸倒引当金	500	500
投資その他の資産合計	252,785	245,031
固定資産合計	790,555	778,795
資産合計	2,937,967	2,890,861
負債の部		
流動負債		
買掛金	151,549	86,580
未払法人税等	49,244	94,000
賞与引当金	6,057	16,797
その他	92,401	64,861
流動負債合計	299,251	262,239
固定負債		
退職給付引当金	78,127	73,381
固定負債合計	78,127	73,381
負債合計	377,378	335,620

	当第1四半期会計期間末 (平成23年6月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	1,579,873	1,575,719
自己株式	217,684	217,684
株主資本合計	2,558,938	2,554,784
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,650	456
評価・換算差額等合計	1,650	456
純資産合計	2,560,588	2,555,240
負債純資産合計	2,937,967	2,890,861

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)
売上高	412,626	611,587
売上原価	271,537	408,185
売上総利益	141,088	203,402
販売費及び一般管理費	86,808	100,799
営業利益	54,280	102,602
営業外収益		
受取利息	39	52
受取配当金	33	39
為替差益	932	-
デリバティブ評価益	-	540
その他	221	345
営業外収益合計	1,226	977
営業外費用		
為替差損	-	5,454
デリバティブ評価損	1,010	-
営業外費用合計	1,010	5,454
経常利益	54,496	98,125
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	1,343
特別利益合計	-	1,343
税引前四半期純利益	54,496	99,468
法人税、住民税及び事業税	24,142	47,432
法人税等調整額	1,570	6,505
法人税等合計	22,572	40,926
四半期純利益	31,924	58,541

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	54,496	99,468
減価償却費	4,720	4,621
貸倒引当金の増減額（は減少）	147	1,343
賞与引当金の増減額（は減少）	12,472	10,739
退職給付引当金の増減額（は減少）	3,745	4,746
受取利息及び受取配当金	72	92
為替差損益（は益）	736	6,340
デリバティブ評価損益（は益）	1,010	540
売上債権の増減額（は増加）	76,713	108,292
たな卸資産の増減額（は増加）	26,318	91,332
仕入債務の増減額（は減少）	12,169	64,968
その他	30,082	4,921
小計	42,695	27,272
利息及び配当金の受取額	93	59
法人税等の支払額	35,869	91,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,919	118,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	20,000	20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	940	4,483
無形固定資産の取得による支出	-	4,142
投資有価証券の取得による支出	748	947
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,688	9,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	59,667	47,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,667	47,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	736	6,340
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	53,700	181,618
現金及び現金同等物の期首残高	635,797	841,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	582,097	659,775

【継続企業の前提に関する事項】

当第1四半期会計期間(自平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)

該当事項はありません。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期会計期間 (自平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)	
会計処理基準に関する事項の変更	当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 これによる損益に与える影響はありません。

【簡便な会計処理】

当第1四半期会計期間 (自平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)	
棚卸資産の評価方法	棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。 また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第1四半期会計期間末 (平成23年6月20日)	前事業年度末 (平成23年3月20日)
1 有形固定資産の減価償却累計額は、288,325千円であります。	1 有形固定資産の減価償却累計額は、284,834千円であります。
3 関連会社SHANGHAI ESTIC CO.,LTDの金融機関借入に対する債務保証残高 37,191千円 上記債務保証については、当該債務保証額の50%相当額につき同関連会社の共同出資者であるUNITED FAITH(FAR EAST)LTD.を再保証者とする再保証契約を締結しております。	2 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております。 受取手形 9,372千円 3 関連会社SHANGHAI ESTIC CO.,LTDの金融機関借入に対する債務保証残高 37,140千円 上記債務保証については、当該債務保証額の50%相当額につき同関連会社の共同出資者であるUNITED FAITH(FAR EAST)LTD.を再保証者とする再保証契約を締結しております。

(四半期損益計算書関係)

前第1四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)
販売費及び一般管理費の主なもの	販売費及び一般管理費の主なもの
給料手当 24,907千円	給料手当 23,187千円
賞与引当金繰入額 168千円	賞与引当金繰入額 2,011千円
退職給付引当金繰入額 783千円	退職給付引当金繰入額 1,252千円
貸倒引当金繰入額 147千円	研究開発費 23,290千円
研究開発費 21,834千円	

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 633,097千円	現金及び預金 710,775千円
預入期間が3か月超の定期預金 51,000千円	預入期間が3か月超の定期預金 51,000千円
現金及び現金同等物 582,097千円	現金及び現金同等物 659,775千円

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成23年6月20日)及び当第1四半期累計期間(自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期会計期間末
普通株式(株)	14,710

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期会計期間末
普通株式(株)	1,113

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月17日 定時株主総会	普通株式	54,388	4,000	平成23年3月20日	平成23年6月20日	利益剰余金

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期会計期間(自平成23年3月21日 至 平成23年6月20日)

当社は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具の製造・販売及び当社製品の修理・点検を主な事業とする単一セグメントで事業活動を展開しているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(持分法損益等)

関連会社に関する事項

前第1四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)		当第1四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	
関連会社(共同支配企業)に対する投資の金額	30,000千円	関連会社(共同支配企業)に対する投資の金額	30,000千円
持分法を適用した場合の投資の金額	55,064千円	持分法を適用した場合の投資の金額	30,599千円
持分法を適用した場合の投資利益の金額	4,560千円	持分法を適用した場合の投資損失の金額	5,371千円

開示対象特別目的会社に関する事項

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期会計期間末 (平成23年6月20日)		前事業年度末 (平成23年3月20日)	
1株当たり純資産額	188,320.13円	1株当たり純資産額	187,926.82円

(注) 1株当たり純資産算定上の基礎

項目	当第1四半期会計期間末 (平成23年6月20日)	前事業年度末 (平成23年3月20日)
貸借対照表上の純資産の部の合計額(千円)	2,560,588	2,555,240
普通株式に係る純資産額(千円)	2,560,588	2,555,240
普通株式の発行済株式数(株)	14,710	14,710
普通株式の自己株式数(株)	1,113	1,113
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	13,597	13,597

2 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)		当第1四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)	
1株当たり四半期純利益	2,347.92円	1株当たり四半期純利益	4,305.48円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第1四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年6月20日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	31,924	58,541
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	31,924	58,541
普通株式の期中平均株式数(株)	13,597	13,597

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 8 月 3 日

株式会社エスティック
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 村井 城太郎

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平岡 義則

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスティックの平成22年3月21日から平成23年3月20日までの第18期事業年度の第1四半期会計期間(平成22年3月21日から平成22年6月20日まで)及び第1四半期累計期間(平成22年3月21日から平成22年6月20日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスティックの平成22年6月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8 月 3 日

株式会社エスティック
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 平岡 義 則
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 笹山 直 孝
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスティックの平成23年3月21日から平成24年3月20日までの第19期事業年度の第1四半期会計期間(平成23年3月21日から平成23年6月20日まで)及び第1四半期累計期間(平成23年3月21日から平成23年6月20日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスティックの平成23年6月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。